

市長記者会見報告事項概要

令和8年6月24日(水) 午後2時00分～

1. 市制施行90周年記念行事等（7月分）について

- 4月の花回廊をはじめとする様々なイベントで盛り上がっている。
- 8月23日（日）には、三友サルビアホールで「防府市制施行90周年記念式典」を挙行し、「こども文化祭」も開催する。
- 盛大に90周年を迎え、素晴らしい1日にしたい。
- それに先駆け、7月18日（土）に三友サルビアホールで、シドニーオリンピック金メダリスト高橋尚子さんのトークショーを開催する。
- 翌日には、ダイキョーニシカワ スクエア ソルトアリーナ防府でランニングクリニックを開催する。
- 7月20日（月・祝）には、三友サルビアホールで「ほうふGENKIコンサート 第18回七夕コンサート」を開催する。
- 7月25日（土）には、恒例の「防府おどり」を開催する。
- 昨年の25団体1,300人を大きく上回る、40団体2,000人を超える申込みがあったと伺っている。
- まさに防府がひとつとなった「防府おどり」で夏を盛り上げ、秋の裸坊1万人につなげていきたい。
- 恒例の防府天満宮「七夕まつり」や、富海と野島の海水浴場の「海開き」もある。
- 7月20日（月・祝）、21日（火）には、市内小中学生が参加する「菅原道真公歴史探訪クルーズ」も開催する。

2. 農道牟礼小野線の開通について

- 平成6年に始まった事業が、30年を超える時間をかけ、8月8日（土）に開通することとなった。
- 当日は、牟礼（阿弥陀寺）側で「農道牟礼小野線開通式」を、小野（真尾）側で「開通を祝う会」を開催する。

3. 令和8年6月補正予算（案）について

- 物価高騰の影響を受ける市民や市内事業者の方々に対し、令和7年度補正予算と令和8年度当初予算において、国事業と合わせた子育て世帯支援や、中小事業者に対する超低金利の融資枠を創設するなど、様々な物価高騰対策を講じてきた。
- そのような中、2月に起きた中東情勢の緊迫化により、更なる物価の高騰を招き、市内事業者への影響が懸念することとなったことから、商工会議所と連携し、3月に特別相談窓口を設置した。

（1）関税・物価高騰対策緊急支援資金の拡充（4月専決）

- 米国の関税措置に続き、中東情勢の緊迫化等により長期間にわたり厳しい経営環境となっている中小企業の資金繰り対策として、据置期間を2年から3年に拡大し、融資に伴う保証料及び据置期間中の利子を市が全額負担するよう、制度を拡充したものの。

（2）小規模事業者中東情勢緊急支援資金の新設（6月補正）

- 中東情勢の長期化によって、資金繰りが急激に悪化している、いわゆる小規模事業者の資金繰り対策として、新たな資金を創設することとした。

- 融資枠は3億円とし、融資に伴う信用保証料及び据置期間内の利子については、全額市が負担することとしている。
- 利率については、金利が上昇している中においても、超低金利の1.5%とした。
- 事業費としては、制度創設に伴う預託金6,000万円、利子補給500万円、保証料3,000万円、計9,500万円となっている。

(3) 制度融資利子補給事業積立金（6月補正）

- 4月専決の「関税・物価高騰対策緊急支援資金」と6月補正の「小規模事業者中東情勢緊急支援資金」に係る利子補給事業について、翌年度以降の財政運営に支障をきたさないよう、必要額を基金へ積み立てることとし、3,600万円を計上している。

(4) 漁業者燃料油支援事業（6月補正）

- 中東情勢の悪化により重油の価格が高水準で推移し、漁業者の経営を圧迫している状況にあることから、その経営を支援するため、ホルムズ海峡の封鎖による燃料費の上昇分を3ヶ月間支援することとし、200万円を計上している。

(5) ほうふっ子夏休み元気事業（6月補正）

- この度の国の補正予算により、地方に1,000億円の重点支援交付金が措置された。
- そのうち、防府市には約4,200万円が配分されており、その全額を活用して、夏休み中にこどもたちが元気にすごせるよう、こども一人当たり5,000円の給付金を支給することし、8,000万円を計上している。

(6) 6月補正予算総括

- 事業規模は2億1,300万円。
- 財源については、臨時交付金4,200万円を全額活用するとともに、諸収入6,000万円を充て、一般財源として1億1,100万円を計上している。
- 一般財源のうち、7,300万円は物価高騰等対応予備費を活用し、残りの3,800万円は財政調整基金の取崩しにより対応している。